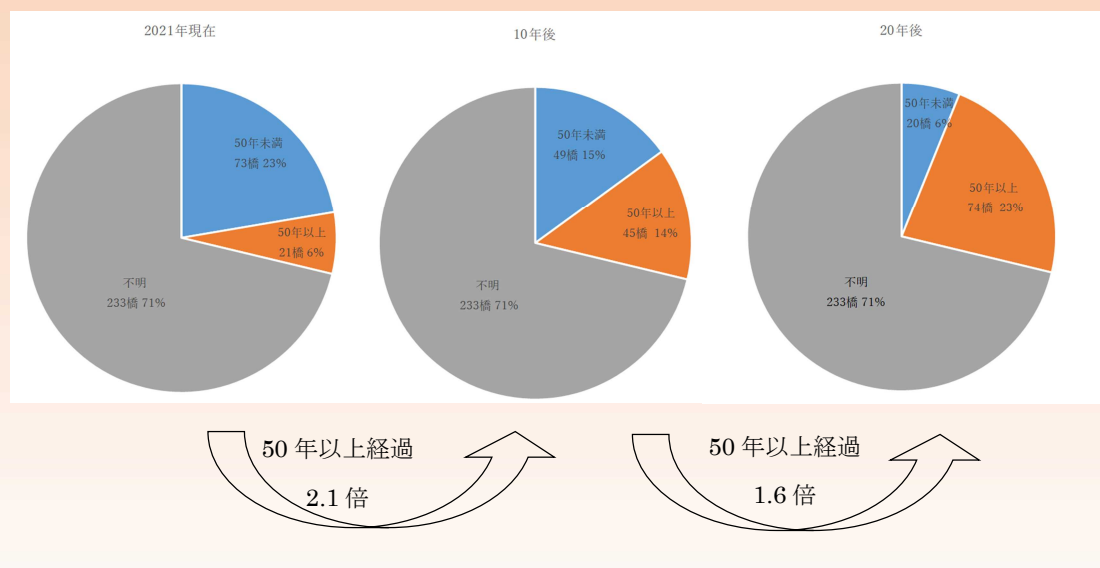


勝山市の橋梁長寿命化修繕計画

<背景・目的>

- 勝山市では、現在、327 橋(2m 以上の全橋梁)の道路橋を管理しています。
- 架設した年のわかる 2m 以上の橋梁のうち、すでに建設後 50 年を経過する高齢化橋梁は 21 橋(6%)ですが、20 年後には 74 橋(23%)となり、橋梁の高齢化が急速に進行します。
- このような背景から、今後、増大が見込まれる橋の補修・架け替えに要する費用を削減するために、多大な費用を要する架替が一時期に集中しないように橋の長寿命化を図る必要があります。
- 橋の長寿命化を図るためには、損傷が大きくなってから対策を行う「事後保全」ではなく、損傷が大きくなるまでに予防的に補修を行う「予防保全」を行う必要があります。



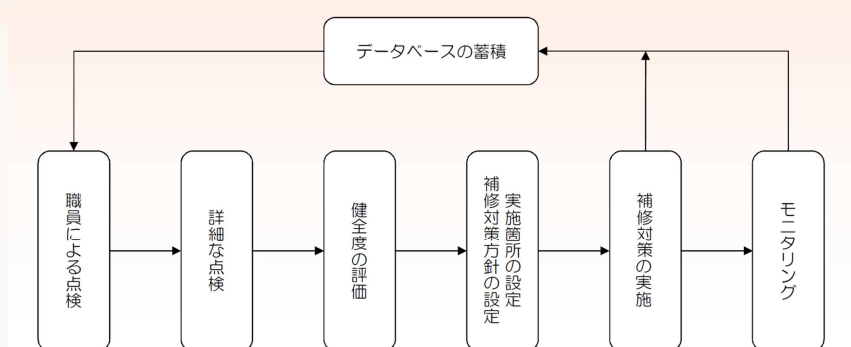
<補修対策の実施>

- 改訂した長寿命化修繕計画に従い、計画的な補修対策の取り組みを開始します。
- 下の写真のように損傷が顕在化している橋梁について、立地条件等の重要度を考慮して補修を実施する方針です。



＜今後の方針＞

- 今後も引き続いて適切な維持管理をおこない、市民の皆さんの安全を確保するとともに、補修・架替に要する費用の縮減に努めていきます。
- 5年毎に橋の定期的な点検を実施し、橋の状況を把握していきます。
- 本計画は点検を実施した結果を随時反映し、適宜見直ししていきます。
- 点検した結果は、随時データベースに蓄積し将来の維持管理に利用します。
- 道路メンテナンスに関わる新たな動向を的確に捉え、新技術の活用を推進します。
- 利用状況を踏まえて橋の集約化・撤去を検討します。
- 上記の取り組みについて、継続的に進めていきます。



＜橋梁長寿命化修繕計画により見込まれる効果＞

- 定期点検による橋梁の状態の継続的な把握により交通ネットワークの安全性を確保できます。
- 中長期的な観点から対策の優先順位を判断することにより、限られた予算を有効活用できるとともに予算の平準化が図られます。
- 個々の橋梁の重要度や損傷程度を総合的に評価した修繕計画を策定することにより、効率的な維持管理が可能となります。
- 橋梁長寿命化修繕計画に基づいた適切な管理をすることによって、橋の寿命を延ばすことが可能となり、コストの縮減が期待できます。

勝山市建設課

福井県勝山市元町1丁目1番1号